今月のPick up 天友会・神勝寺からのお知らせ ▶

天友会、神勝寺で開催されるイベントの告知や、当日の様子などを紹介。
皆さんぜひご参加ください。

天友会

ご逝去　謹んでお悔やみ申し上げます

松岡 武雄様
2022年2月27日 61歳　在籍会社:ツネイシCバリューズ

佐藤 裕之様
2022年4月19日 80歳　在籍会社:常石造船

新会員紹介

氏 名	退職時在籍会社
佐藤 博一様	ツネイシLR
岡本 欣也様	ツネイシCバリューズ

5月の行事

『歩こう会』
1時間程度歩きます。雨天の場合は中止

日 時　毎週火曜日 午前7時から
集合場所　ツネイシしまなみビレッジ本館

【お問い合わせ】
天友会事務局　所在地:福山市沼隈町中山南26-1
TEL:084-988-0302　FAX:084-988-0300

神勝寺

早朝坐禅会

日 時　毎週水曜日 午前6時から
場 所　国際禅道場内大徹堂

無明会

日 時　5月12日（木）午前11時から
場 所　神勝寺 無明院

公開講座のご案内

講 師　花園大学国際禅学研究所　芳澤 勝弘先生
場 所　神勝寺 無明院
講 座　禅文化講座（聴講無料）

5月以降の禅文化講座については、確定後ご案内します。
また、最新情報は「神勝寺　禅と庭のミュージアム」ホームページでも確認できます。　https://szmg.jp/

【お問い合わせ】
神勝寺 無明院
TEL:084-977-1111　FAX:084-988-0117

イベント告知&報告

参加者募集！

天友会では、5月に次のイベントを開催。現在、参加者を募集しています。詳細は次の通り。

第19回天友会グラウンドゴルフ大会

日 時　5月19日（木）
場 所　みろくの里
（ツネイシしまなみビレッジツネイシフィールド）
参加費　500円
申込期限　5月9日（月）までに天友会事務局へ

第19回天友会ゴルフコンペ

日 時　5月27日（金）
場 所　神石高原カントリークラブ
参加費　6,500円
申込期限　5月13日（金）までに天友会事務局へ
※参加者の皆さまには、後日組み合わせ表を郵送します。

問い合わせはいずれも天友会事務局へ。
TEL:084-988-0302　FAX:084-988-0300

開催報告

お花見会開催

4月5日に世羅甲山ふれあいの里でお花見会を開催し、37人が参加しました。去年、一昨年のお花見会は中止となったため、今回、久しぶりの集合となりました。しだれ桜はまだつぼみで、開花状態ではありませんでしたが、参加者は並木道を和気あいあいと楽しみながら散策しました。

つねいし通信　2022.5　Vol.002

プロジェクトを追った　常石グループ職域接種

社員とその家族を新型コロナウィルスから守る！

2021年夏、常石グループではいち早く新型コロナワクチンの職域接種が行われた。実現までのプロセスと、運営の様子について、常石造船安全室の奥谷 浩之さん、ツネイシホールディングス[THD]総務部の大本 武史さん、村川 久美さんに振り返ってもらった。

医療スタッフは沼隈病院から派遣された

社員の不安に応え 常石造船からグループ全体に規模を拡大

当時、新型コロナワクチンの一般接種についての状況が不透明な時期が続いていた。そんななかで、常石造船が職域接種の実施に向けた活動を開始。常石グループ全社へと規模が拡大した。THD総務部の大本さんは、当時を振り返り「職域接種は1,000人以上の企業が対象。常石造船以外の会社が単体で実施するには人数が足りませんが、常石造船が最初に動き始めてくれたことで、職域接種の実現に向けて一気に加速しました」と話す。

沼隈病院のアドバイスで 密にならない接種会場を実現

1回目を7月5日〜30日、2回目を8月2日〜9月7日の日程で実施することが決定。会場となった溶接センター会議室のレイアウトは、協力体制を確立していた沼隈病院からアドバイスを受け、受付から接種後の待機まで、密にならずに行えるようにした。「スタート後も状況を見ながら配置変更を行い、よりスムーズな人の流れとなるように工夫しました」と常石造船の奥谷さん。接種者専用駐車場を確保し、建物の裏側にある入り口を利用してもらうことで最短ルートでのアクセスを可能にした。

リモートワークが難しい職種を優先 キャンセルや副反応への迅速な対応も

「運営にあたり、最も神経を使ったのは、社員の皆さんの接種スケジュールの管理です」とTHDの村川さん。現場対応などでリモートワークが難しい職種を優先すること、業務が滞らないように人数の少ない会社でも複数の接種日を設けること、この2点を両立させた。さらに、ワクチンのロスを出さないようにと国からの指示があったため、キャンセルが出た場合の繰り上げ接種の手配など、常に的確に判断する必要があったそうだ。

職域接種のスムーズな進行のため 夜間休日を問わずワクチン管理を徹底

順調に進んだ職域接種の陰には、運営スタッフによる、夜間休日を問わず徹底したワクチン管理があった。マイナス20度での管理を維持するため、接種会場に国から貸与された専用冷凍庫を設置。ワクチンが届けられる際は、配送車から会場まで運ぶ台車にもバッテリーが搭載されていた。また、冷凍庫の設置場所の温度の上限も25度と定められていたため、会場のエアコンは2ヵ月間にわたって24時間フル稼働。ポータブル発電機を配置し、台風や雷による停電にも備えた。

合計3,751人のワクチン接種を実施

こうした“表に出ない”活躍や苦労の甲斐あって、社員2,805人、ご家族946人、合計3,751人のワクチン接種が滞りなく完了。村川さんは「第5波まで、常石グループでは陽性者はほとんど出ていません。一般接種よりも早い段階でワクチン接種を受けてもらった結果だとしたらうれしいですね」とやりがいを語った。

NEWS&TOPICS ニュース アンド トピックス

Japan / World

February～April, 2022

2022年度の安全祈願式を実施

常石集団(舟山)造船[TZS]　2/18

TZSは、秀山島にある寺院の秀山英峙廟にて、2022年度安全祈願式を執り行った。式には佐藤 二郎総経理をはじめ、李 家亮副総経理、グループ各社の役員・管理職など約90人が参列。一同は、厳かな雰囲気の中で読経参拝を行い、TZS及び関連会社の今年の事業の繁栄、安全操業と今後のさらなる発展、社員及び家族の健康と幸福を祈念した。

厳かな雰囲気の中で読経参拝を行い、安全な一年となるよう祈願した参列者一同。今回はグループ各社の役員・管理職など、全部で約90人が参列した

国内船主と初めてLPG運搬船の建造契約を締結

常石造船

常石造船は、初めて国内船主とLPG運搬船（4隻）の建造契約を締結。2023年に常石工場で1番船を竣工する予定だ。契約した船は、推進抵抗を低減する船体形状で、最新主機を搭載してCO_2の排出を抑制する。エンジンで生成された窒素酸化物を低減する排ガス処理装置のSCR（選択触媒還元）も装備し、推進・環境性能に優れたエコシップだ。

LPG運搬船建造で重要な貨物タンク及び関連システムの設計・建造は、三井E&S造船と協業。両社の知見を合わせることで、経済性と環境負荷軽減の両立を実現する船舶を建造する

オンラインで第1回
タウンホールミーティングを開催

ツネイシホールディングス[THD]　3/2

THDは、第1回タウンホールミーティングをオンラインで開催し、社内コミュニケーションの活性化や経営方針の理解促進などについて話し合った。本会は15分という短い時間で月に1回の開催を目指す集会。今回は神原 宏達社長からの経営メッセージや新たな加入メンバーの紹介、各部からのお知らせなどが共有された。

神原社長は「社員が活躍する場を作ること、会社や社員が学び続けること、変化に対応する力を身に付けることが、優れた企業価値の創出や持続的な成長につながる」と語った

静岡県御前崎市に
アルミ合金製津波シェルターを納品

ツネイシクラフト&ファシリティーズ[TFC]　3/8

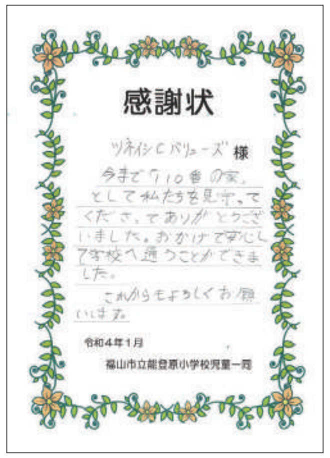
TFCは、静岡県御前崎市にアルミ合金製津波シェルター（津波救命艇）を納品した。同市は太平洋の遠州灘に面しており、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）を教訓に、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえたさまざまな対策を実施。その一つとして、津波から人命を守るための津波救命艇の導入を進めている。

TFCは「東日本大震災で味わった悲しみを二度と繰り返したくない」という思いから、2012年に津波シェルターを開発。現在は岩手県にある子会社ティエフシーで建造している

能登原小学校から「こども110番の家」
感謝状を授与される

ツネイシCバリューズ[TCV]

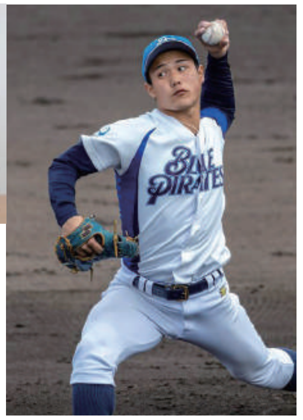
TCVは、児童たちが助けを求めることができる民間協力の取り組み「子ども110番の家」の感謝状を、福山市立能登原小学校より授与された。経理・総務部の門田 高志さんは「これからも、地域の方々と連携し、次世代を担う子どもたちが安心して過ごせる地域の環境づくりに貢献できるよう取り組んでいきたい」とコメントした。



TCVは地域・社会とともに歩む企業として、今後も地域の方々との連携を図りながら、安全で暮らしやすい社会の実現に努める

TBP 新キャプテン　大中 優吾選手インタビュー
～怪我を乗り越え、日本一へフル回転～

ツネイシブルーパイレーツ[TBP]



昨シーズンは6月頃から怪我で投げられなかった大中選手。その間は客観的に見て気付いたことなどをチームメイトに積極的に伝え、サポートすることでチームに貢献した

TBPの2022年シーズンから、神原汽船の大中 優吾選手がキャプテンに就任した。歴代では珍しい投手でのキャプテン就任。大中選手は「昨年までと同じくドーム出場は目標の一つではありますが、通過点の一つだと考えています。今年こそは目標である日本一を実現するため、チーム一丸となり頑張っていきたい。ご声援のほどよろしくお願いいたします」と語った。

国土交通省より「事業基盤強化計画」の認定を取得
～環境対応船舶の開発や修繕サービス強化を加速～

常石造船　3/23

常石造船は、国土交通省から事業基盤強化計画の認定を取得した。これにより日本政策金融公庫・指定金融機関の金融支援や、税制の特例適用・計画作成への補助金などを受けることができるようになった。さらに特定船舶を建造する場合は、国土交通省からの支援も受けられる。今後は環境対応船舶の開発や修繕サービスの強化などをさらに促進する予定だ。

環境対応船舶の開発及び建造や、常石造船と神田ドックのシナジー発揮による修繕サービスの強化、DX化の推進による生産性や顧客サービスの向上を目指す

フィリピン台風被災者の支援として、
“SMILE BOX” 16箱分の衣類などを寄付

常石造船　3/11

フィリピンへの寄付活動は2010年から毎年行っている。常石造船が主体となって本館ビルや造船工場などに“SMILE BOX”を設け、常石グループ各社の社員から寄付を募る

常石造船は、TSUNEISHI HEAVY INDUSTRIES (CEBU)（以下THI）を通じて、フィリピンのTHI近辺地域（アルピリ地区、ブアノイ地区、アブカヤン地区、バリワガン地区）で昨年12月に起こった台風による被災者に支援物資を提供。今年1月に常石グループ各社の社員から寄付された衣類・靴などを、“SMILE BOX”として16箱分の配布を行った。